



# 平成31年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト (日本基準)

## 売上高、営業利益、経常利益ともに増収増益。

		(%表示は対前年同四半期増減率)
売上高	44,593 百万円	10.3 %
営業利益	5,946 百万円	9.6 %
経常利益	5,969 百万円	9.1 %
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,946 百万円	9.3 %

	損益の状況				31年3月期	
	31年3月期 第3四半期	30年3月期 第3四半期	前年同期比	増減率(%)	通期 業績予想	進捗率(%)
(単位:百万円)						
売上高	44,593	40,417	4,176	10.3	63,000	70.8
売上総利益	12,469	11,849	619	5.2	-	-
販売費及び一般管理費	6,522	6,424	98	1.5	-	-
営業利益	5,946	5,424	521	9.6	9,950	59.8
営業外収益	27	53	25	48.1	-	-
営業外費用	4	7	2	39.5	-	-
経常利益	5,969	5,470	498	9.1	10,000	59.7
特別利益	-	29	29	-	-	-
特別損失	2	5	3	61.0	-	-
税金等調整前四半期純利益	5,967	5,494	472	8.6	-	-
法人税等	2,017	1,889	128	6.8	-	-
四半期純利益	3,949	3,604	344	9.6	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,946	3,610	335	9.3	6,600	59.8

1株当たり四半期純利益 (円)	138.01	126.27	11.74	9.3
-----------------	--------	--------	-------	-----

	セグメント情報					
	売上高			セグメント利益		
(単位:百万円)	31年3月期 第3四半期	30年3月期 第3四半期	前年同期比	31年3月期 第3四半期	30年3月期 第3四半期	前年同期比
システム事業	31,297	26,802	4,495	3,262	2,651	610
サービス・サポート事業	13,702	14,043	341	2,688	2,758	69
計	44,999	40,845	4,154	5,950	5,410	540
その他(含む調整額)	405	427	22	4	14	18
合計	44,593	40,417	4,176	5,946	5,424	521

主な増減要因	
売上高	売上高は、445億9千3百万円となり、働き方改革の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築ビジネスに引き続き注力するとともに、ITインフラ運用の効率化およびセキュリティ強化を目的としたリプレース提案を継続的に推進したことで、前年同期比41億7千6百万円(前年同期比10.3%増)の増収。
利益	営業利益は、59億4千6百万円となり、前年同期比5億2千1百万円(前年同期比9.6%増)の増益。 経常利益は、59億6千9百万円となり、前年同期比4億9千8百万円(前年同期比9.1%増)の増益。 親会社株主に帰属する四半期純利益は、39億4千6百万円となり、前年同期比3億3千5百万円(前年同期比9.3%増)の増益。

主な増減要因	
システム事業	製造業や文教・官公庁向けのサーバー関連事業や、高付加価値のストレージ関連事業が堅調に推移したことから、営業利益は32億6千2百万円となり、前年同期比6億1千万円(前年同期比23.0%増)の増益。
サービス・サポート事業	システム構築案件に伴う作業代収入は増加したものの、レガシー機器関連の保守契約売上が減少したこと等により、営業利益は26億8千8百万円となり、前年同期比6千9百万円(前年同期比2.5%減)の減益。

	総資産及び純資産の状況				主な増減要因	
	(単位:百万円)	31年3月期 第3四半期	30年3月期	前期末比	増減率(%)	
総資産	59,989	63,789	3,800	6.0	資産 流動資産は、受取手形及び売掛金が78億3千万円減少したことなどにより、前期末比31億2千9百万円(前期末比5.3%減)の減少。 固定資産は、繰延税金資産が3億7千1百万円減少したことなどにより、前期末比6億7千万円(前期末比13.7%減)の減少。	
流動資産	55,757	58,887	3,129	5.3	負債 流動負債は、支払手形及び買掛金が28億6千3百万円減少したことなどにより、前期末比42億3千万円(前期末比27.5%減)の減少。 固定負債は、資産除去債務が3千3百万円増加したことなどにより、前期末比7百万円(前期末比0.3%増)の増加。	
固定資産	4,231	4,902	670	13.7	純資産 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益39億4千6百万円の計上による増加と、配当金34億3千1百万円の支払いによる減少などがあり、当第3四半期では、前期末比4億2千3百万円(前期末比0.9%増)の増加。 この結果、自己資本比率は77.2%となり、前期末比5.3ptの改善。	
負債	13,651	17,875	4,223	23.6		
流動負債	11,162	15,392	4,230	27.5		
固定負債	2,489	2,482	7	0.3		
純資産	46,337	45,914	423	0.9		
自己資本(注1)	46,286	45,866	420	0.9		
自己資本比率(注2)	77.2%	71.9%	5.3pt改善	-		

(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産



配当の状況				
	31年3月期	30年3月期	29年3月期	28年3月期
中間配当	55 円	45 円	40 円	35 円
期末配当	70 円(予想)	65 円	50 円	40 円
年間配当	125 円(予想)	110 円	90 円	75 円
自己資本(百万円)	-	45,866	41,946	38,597
配当性向(%)	54.2(予想)	48.5	48.9	51.6

\*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。